

平成30年度 事業報告

「文化芸術で歓びと希望を感じるまちづくり」の運営理念のもと、法人として受託した入間市文化創造アトリエの指定管理業務及び法人独自の事業を展開した。

1. 文化創造事業

事業実施に当たっては「プラン推進会議」で計画を共有し、「ひとづくり」「魅力づくり」「芽づくり」「まちづくり」の各事業をディレクター、スタッフが協調して行った。事業計画は、単年度ではなく長期的な視点に立ち運営方針に沿って立案している。事業は、計画通りに実施したほか、新規の事業も加わり多くの方に文化芸術を享受していただけたと思う。

また、埼玉県が推進する、2020年以降を見据え次世代に誇れるレガシーの創出に資する文化プログラム「beyond2020プログラム」の認証に対応し、「アートな春フェス2018」、「雅楽をたのしむ」事業を申請し受理された。

当法人としても、国、県の方針に沿い積極的に今後も「beyond2020プログラム」に参加していく。

[指定管理における文化創造事業]

事業計画は、市民の運営を基本とするアトリエ設置条例と運営方針に基づき、各分野のディレクターと事務局が企画立案し実施した。

事業別については下記のとおりである。

- ① 「ひとづくり」事業では、文化芸術に関心を持つ方、それを支えるスタッフなどを積極的に育てていく企画を行っている。「アート散歩」では、アートに関する歴史や鑑賞を直接美術館などを訪ね学ぶという企画で、本年は熱海のMOA美術館と起雲閣を訪問した。その他、将来のディレクター候補の発掘と育成、公演などに当たって案内や誘導、終演後の撤収など運営に関わるスタッフの育成を行った。
- ② 「魅力づくり」事業では、「のこぎり屋根の音楽会～アフターコンサート～」で気軽な音楽機会を提供し、「アミーゴライブ」「落語会」「雅楽公演」「夕涼みライブ」「西洋館コンサート」など上質な文化芸術を鑑賞する機会を提供してきた。サロン洋を活用した「アートサロン展」は2回開催した。地域産業である染織体験工房も継続して実施した。魅力あるアミーゴ、入間をアピールすることができた。
- ③ 「芽づくり」事業では、「ドラマ工房」「アート事業」などを実施した。「ドラマ工房」は、公募市民で作る「劇団アミーゴ」の稽古を通し、本公演の「ジッパ」を上演したほか、藤沢小学校創立130周年記念の公演をはじめ、中学生の授業の一環で地域の織物産業をテーマに10minシアターの公演を行った。「アート事業」では、大人対象の「アート講座」、子ども対象の「遊び場アートスタジオ」を実施した。
- ④ 「まちづくり」事業では、文化芸術を通じた地域との関係づくりを重視して「アートな春フェス」「夏フェスタ」「いるまクラフトフェア」を開催した。「クラフトフェア」

は、地域のイベントとして定着し、多くの方の来場があり、アミーゴの存在をアピールすることができ成果があった。「春フェス」は5度目の取り組みで、プロのアーティストがホールや館庭を利用し展示とワークショップを行い、アミーゴの春をアートで楽しんだ。その他、パートナー事業として地元企業の「入間ガス(株)」「所沢織物商工(協)」と連携したコンサートや落語会、入間市社会福祉協議会との連携で難聴者対象に「身体で聴く音楽会」を開催した。今後も他団体との連携で文化芸術の振興と社会貢献活動を推進していきたい。

[法人独自の文化創造事業]

指定管理業務である文化創造事業のほか、長年培った事業ノウハウをもって、多くのNPO 法人独自の事業を行った。

学校、子ども対象に「学校古典芸能鑑賞会(浪曲)」、子どもゆめ基金の助成を受けた「AMIGO! クリエーターズ」「アミーゴハロウィン」、地域の中学校の授業の一環として劇団アミーゴとともに「織物とアミーゴの歴史」の学習会を行った。また、入間市市民提案型協働事業の助成を受けて「ART な入間のまちづくりーまちかどコンサート」事業を行い成果があった。

その他、「公民館落語会」などアウトリーチ事業、西武5区の敬老会の支援などを行った。「いるま狂言会」を昨年に続き産業文化センターで開催した。

2. アトリエ施設管理事業（指定管理事業）

①市民ニーズに対応した窓口サービスを心がけ、利用率の向上に努めた。

②来館者、利用者の安心安全の確保とアメニティー空間を確保するため、施設の修繕、清掃美化に努めた。

③施設の広報を積極的に行った。HP、フェイスブック、ツイッター、新聞社、ミニコミ紙、情報サイト、ケーブルTV など。

3. 各種会議の開催

総会、理事会、プラン推進会議、評議員会のほかアミーゴ事業の中長期計画を考える全体会議を開催した。

4. その他の活動

①希望する団体に施設及び運営の説明紹介を行った。(11 団体)

②ガーデンボランティア活動。館庭美化のため、ボランティアにより除草作業を春から 秋にかけて月2回程度18回行った。その他、個々で都合をつけて除草作業を行うなどボランティアの方のご協力で、館庭の美化が図られた。

③交流会の開催

・5/21 (火) 総会終了後に会員交流会を開催。事業のプレゼンテーションを行った。

・1/15 (月) スタッフ新年交流会を開催した。

④研修会等の開催と参加

7月31日 ～8月1日	火水	(財) 地域創造が主催する研修会へ理事監事・事務局が参加した。文化ホールの現状に関するシンポジウム、アーティストのプレゼンテーションに参加した。(5名)
9月13日	木	事業開催中に想定される震災、火災などの災害に対応した実地研修「避難訓練落語会」を行った。内容は、落語会の中で地震が発生し、スタッフの指示で非難するというもの。(参加者スタッフ28人、協力住民9人)
11月1日	木	「効果的な集客方法?を考える」広報研修会を開催した。いわき文化芸術交流館アリオス広報グループチーフの長野隆人氏を招いて行った。(16人参加)
11月16日	金	まちサポ、入間市、埼玉県共助社会づくり課主催「いるまアクティブシニア「余世与世」事業・糸で結ぶ入間・川越」に参加した。(2名) 講師：藤井美登利

⑤ 広報活動

- ・ホームページ、フェイスブック、ツイッターなどによる情報提供を常時行った。
- ・広報紙「赤いのこぎり屋根」を5回発行した。
- ・事業チラシを7回、新聞折込みチラシ2回、ミガド(A5版)4回発行した。
- ・施設紹介パンフを新しく編集発行した。
- ・小学生低学年用のクイズを取り入れたパンフも製作。
- ・キャラクター「アミちゃん」を作成し、広報に利用。



*このほか様々なメディアに取り上げられた。

- ・新聞に記事が掲載。
- ・織物工房体験、茶染め体験情報が情報サイト、雑誌に掲載。(県 Facebook、MetroWalker)
- ・西武鉄道ウォーキング情報誌掲載。
- ・ミニコミ雑誌に掲載。「ぼど」に文化事業記事掲載。
- ・企業のパンフレットに紹介記事が掲載。